

科目名 (科目番号)		国際看護論 (時間割参照)	教員名 長堀智香子	学科等	看護	必修	履修年次	4
				曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
				授業形態	講義	オフィスアワー	木12:00-13:00・A214研究室	
授業概要		国際的視野で健康問題を概観し、グローバル社会における看護活動について学び理解を深める。						
目的・目標		目的 世界の健康問題を把握し、それに対する我が国の取り組み、および国際看護活動の実際を通じ、グローバル社会における看護の役割と課題を理解する。 目標 ①国際社会の現状と課題を踏まえ、国際看護の概念と目的、および国際看護の枠組みを理解できる ②演習を通じて異文化理解を促進し、国際看護活動の対象を理解した上で、実際の看護活動を考えることができる ③在日・訪日外国人に対する政策と動向を学び、必要な看護活動を考えることができる						
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目		到達目標・学習内容				
	1	国際看護学の概念 国際保健の現状と課題		到達目標:なぜ国際看護学が必要とされているかを理解する 学習内容:世界の健康課題について学習する				
	2	国際看護活動を推進 する人と機関		到達目標:保健分野における国際機関について理解する 学習内容:国際保健医療協力の仕組みとその活動を学習する				
	3	国際看護活動の実際(1)		到達目標:国外において、どのような看護活動がなされているのか理解する 学習内容:国外における国際看護活動の実際を学習する(講義)				
	4	国際看護活動の実際(2)		到達目標:在日外国人および国外の日本人に対して必要な看護活動を考えることができる 学習内容:在日外国人および国外の日本人に対する国際看護活動の実際を学習する				
	5	国際看護活動の実際(3)		到達目標:国外において、どのような看護活動がなされているのか理解する 学習内容:国外における国際看護活動の実際を学習する(演習)				
	6	国際看護活動の実際(4)		到達目標:国外において、どのような看護活動がなされているのか理解する 学習内容:国外における国際看護活動の実際を学習する(発表)				
	7	異文化理解(1)		到達目標:文化的存在としての人間を理解することができる 学習内容:異文化理解、開発途上国における保健医療の現状と課題について学習する				
	8	異文化理解(2)・試験		到達目標:文化的存在としての人間を理解することができる 学習内容:異文化理解、開発途上国における保健医療の現状と課題について学習する				
成績評価の方法・基準		対面時:課題(30%)・終講試験(70%) オンライン時:課題・ワークシート(100%)						
教科書		新体系 看護学全書 看護の統合と実践 国際看護学 第5版			樋口まち子		メヂカルフレンド社	
参考図書		必要時、提示する						
教員からのメッセージ		開発途上国における政府開発援助を経験した看護師/保健師がこの授業を担当します。オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。						